



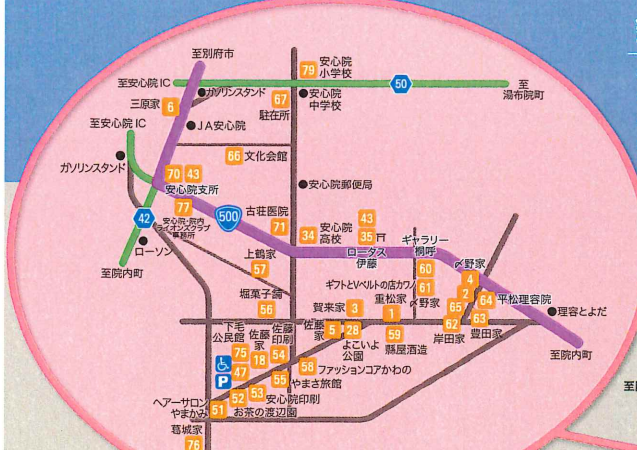
左官棟梁の心意気

庶民の祈りと左官の心意気

のどかな農村に華やかに彩られた漆喰芸術の数々
左官棟梁の心意気を繋いだ、子弟関係の絆の物語。
ここは、安心院～熱きハート～が真ん中にある町

鏝絵見学上の注意

- ・個人邸宅内や周辺の個人所有地へ立ち入る場合は必ず許可を得てください。
- ・個人所有物には触れないで下さい。
- ・花壇の花木や植木を手折ったり、畑の野菜等踏み付けないように注意してください。
- ・マナーを守りゴミ等は持ち帰りください。



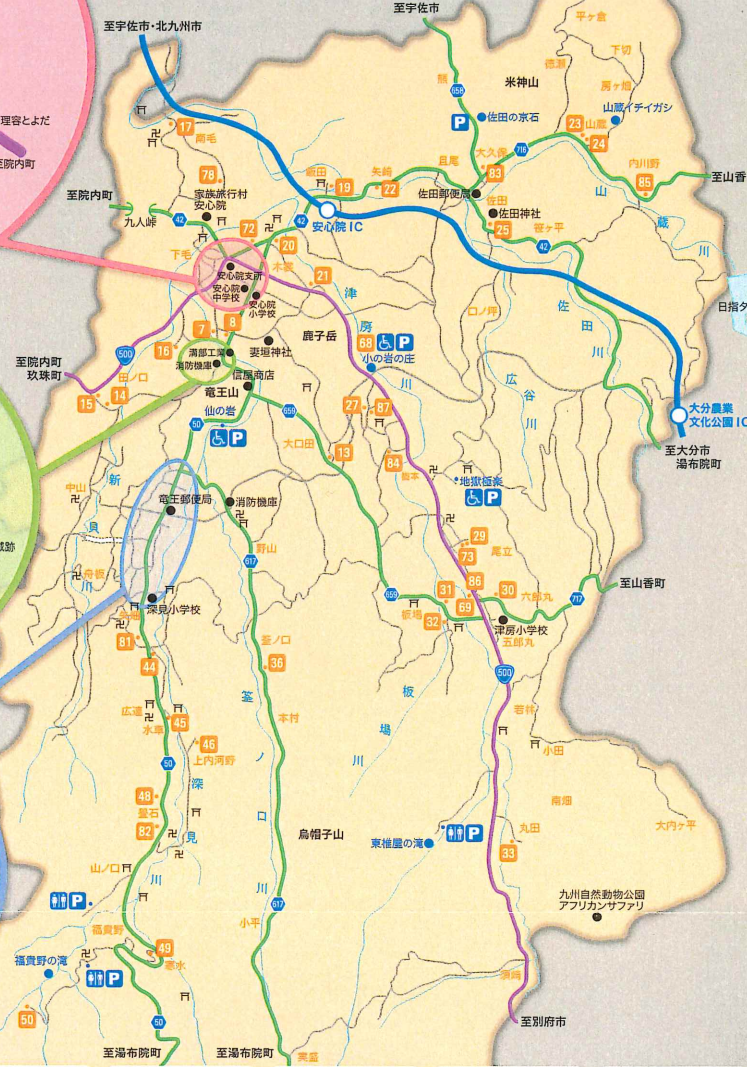
下市・折敷田地区鏝絵案内図



竜王地区鏝絵案内図



大地区鏝絵案内図



●鏝絵一覧表（見学可能な場所ですが、邸宅内、個人所有地へ入る場合は許可を得てください。案内標識に従ってご覧下さい。）

No.	所在地	家屋所有者	制作年代	鏝絵絵柄	位置	職人名
1	折敷田	重松 公子	明治17年	龍・虎・家紋（三階松）	母屋戸袋	長野 鏡蔵
2	折敷田	野 英一	明治20年代	松・鷹	移設	高吉
3	折敷田	賀来 信子	明治	唐獅子	母屋裏壁	不明
4	折敷田	野 ヨリ子	不明	富満・水文字	母屋裏壁	不明
5	下毛	佐藤 元一	明治28年	恵比寿・大黒・鯛の三番叟	母屋戸袋	長野 鏡蔵
6	木袋	三原 健一郎	平成8年	スッポンのワインの壺	店舗看板	後藤 五郎
7	上市	衛 藤政通	昭和63年	龍	母屋裏壁	番掛 均
8	古市	小野 国弘	昭和3年	龍	母屋裏壁	矢野 留蔵
9	龍王	上田 美津子	明治31年	虎	母屋裏壁	長野 鏡蔵
10	龍王	古 莊 郎	明治15年	朝顔・稲光	母屋戸袋	長野 鏡蔵
11	龍王	大江 秋子	明治20年	鶯	母屋戸袋	長野 鏡蔵
12	龍王	細川 法香	明治36年	蓮の花	寺院境内	長野 鏡蔵
13	大口田	小山 敬彦	明治	火船籠	土蔵裏壁	不明
14	田の口	衛 藤マツ工	明治	屋敷（紅葉館）花菱・稲光	土蔵裏壁	不明
15	田の口	丹 生 政二	明治	鶴約り喜比寿	土蔵裏壁	不明
16	大佛	丹 生 忠雄	明治	松	土蔵裏壁	不明
17	下毛	加来 俊雄	昭和初期	天遊・扇・松	土蔵裏壁	不明
18	下毛	佐藤 シゲ子	明治	虎	母屋裏壁	不明
19	飯田	本 田 雅人	明治	富士山・鶴・お日様	母屋戸袋	不明
20	木袋	大久保 利太	明治	狸々	母屋裏壁	不明
21	荘	糸 永 千代美	明治	波尻	母屋裏壁	不明
22	矢崎	新 藤 昭一	大正2年	松・溪谷の虎	母屋戸袋	久保 嘉太郎
23	山蔵	石川 清憲	大正	おかめ・虎	母屋戸袋	内山 富太郎
24	山蔵	矢野 文博	大正3年	家紋（楯）	母屋裏壁	不明
25	佐田	安倍 兵吾	明治35年	月と虎	母屋戸袋	不明
27	楢本	永田 知徳	明治18年	外法の散髪・松・鶴・虎	母屋戸袋	山上 重太郎
28	下毛	よこいよ 公徳	明治	一富士二鷹三茄子	移設	長野 鏡蔵
29	尾立	臼 杵 輝子	大正12年	牡丹・桐紋様	居間裏壁	佐藤 秀義
30	六郎丸	大 坪 欣一	明治	家紋レリーフ師	母屋裏壁	不明
31	川崎	渡 辺 千尋	明治	天遊・扇・松	母屋裏壁	不明
32	板場	遠 島 浩志	明治35年	松・鷹・虎 家紋（宝珠）カキツバタ	母屋戸袋 母屋裏壁	不明
33	丸田	小野 正雄	大正7年	鷹・富士山・日の丸・花菱	居間戸袋	山上 重太郎
34	折敷田	大分県立安心院高等学校	明治	松・鷹	移設	不明
35	折敷田	ロータス伊藤	明治	鶴・亀	移設	矢野 姓
36	釜ノ口	釜ノ口 孝	明治	赤い亀・鬼	妻壁	上鶴 林平
37	大	衛 藤 幹彦	明治	家紋（瓜）	土蔵裏壁	不明
38	大	山 村 博俊	明治13年	浦島太郎	母屋戸袋	佐藤 本太郎
40	大	岩 尾 嘉一	明治20年	雁に恵比寿 南徳老人	母屋戸袋 土蔵裏壁	佐藤 本太郎
41	西納	下 園 勉	明治	鶴抱き恵比寿	妻壁	佐藤 本太郎
43	折敷田	ロータス伊藤	明治43年	鶴約り恵比寿	移設	佐藤 本太郎
43	下毛	安心院地域協会	明治43年	踊る大黒	移設	佐藤 本太郎
44	矢崎	矢野 モトミ	明治	富士山・舟・花菱・稲光	居間戸袋	山上 重太郎
45	水車	佐藤 孝治	明治	小櫃・雛	居間裏壁	山上 重太郎
46	上内河野	赤 野 卓	明治	波尻・家紋	土蔵裏壁	江藤 策一
47	下毛	いこいの広場	明治	家紋・波尻	妻壁	不明
48	豊石	永 野 英彦	明治37年	龍・虎	母屋戸袋	不明
49	大平	江 藤 逸郎	明治	家紋	土蔵裏壁	長野 鏡蔵
50	大平	大 平 忠利	明治	松・鷹	土蔵裏壁	正徳
51	下毛	ヘアサロンやまかみ	平成16年	子どもの散髪	壁	江藤 智子
52	下毛	お茶の渡辺	平成16年	分福茶釜	壁	石田 覚蔵
53	下毛	安心院印刷	平成14年	鼠	壁	後藤 五郎
54	下毛	佐藤 印刷	平成16年	虎	壁	江藤 智子
55	下毛	やまさ 旅館	平成16年	鯉の籠登り・スッポン	壁	永田 知徳
56	下毛	榎 葉子 鍾	平成16年	恵比寿のスッポン釣り	壁	江藤 智子
57	下毛	上 鶴 見 恵	平成10年	松・鶴	壁	永田 知徳
58	下毛	ファッションカワの	平成16年	十二単女性	壁	江藤 智子
			平成13年	弁天堂・恵比寿	壁	永田 知徳
59	折敷田	縣 屋 酒 造	平成16年	毘沙門天・弁天堂・布袋	壁	江藤 智子
60	折敷田	ギャラリー桐田	平成16年	歌舞伎役者	壁	石田 覚蔵
61	折敷田	ギフト&ベルトの店カワノ	平成16年	大黒・発動機	壁	石田 覚蔵
62	折敷田	岸田 正彦	平成16年	布袋・松・水	壁	石田 覚蔵
63	折敷田	豊 田 敦巳	平成16年	雲龍の田	壁	江藤 智子
64	折敷田	平 松 理 容院	平成16年	松・猪・墨壺	壁	江藤 智子
65	折敷田	野 英一	平成16年	牡丹	壁	江藤 智子
66	下毛	安心院文化会館	明治	松・鶴	移設	不明
67	下毛	安心院駐在所	明治	唐獅子・牡丹	移設	内山 久造
68	戸方	小の岩の庄	平成14年	鯉・スッポン・ぶどう・海・曲山	壁	江藤 智子
69	六郎丸	津房 郵便局	平成16年	飛脚・赤ボスト	壁	江藤 智子
70	下毛	宇佐市観光協会	平成11年	七福神	壁	山倉 忠男 橋口 勉
71	下毛	古 荘 医 院	平成13年	ジキリス	壁	原田 進
72	木袋	久留見 シズ子	明治	家紋（菊）	母屋裏壁	不明
73	尾立	白 杉 守一	不明	家紋	母屋裏壁	不明
74	下毛	いこいの広場	平成16年	左官の鏝絵つくり	壁	江藤 智子
75	下毛	下毛 公民館	平成26年	安心院展望台に布袋	壁	永田 知徳
76	下毛	葛 城 竜二	平成19年	八頭馬	妻壁	江藤 智子
77	下毛	お茶の渡辺	平成22年	海・馬	壁	江藤 智子
78	下毛	織生 紀夫	令和3年	鳳凰	壁	後藤 五郎
79	木袋	宇佐市立安心院小学校	平成11年	空飛ぶ子ども	壁	原田 進
80	西納	河野 良子	平成16年	猪	壁	江藤 智子
81	矢崎	深見 守世 宅	平成9年	鶴	壁	石田 覚蔵
82	豊石	浄 念 寺	平成16年	蓮の花・家紋	妻壁	江藤 智子
83	佐田	佐田 守世 宅	平成15年	龍	壁	石田 覚蔵
84	楢本	大 保 均	平成19年	吠える虎	壁	永田 知徳
85	内川野	佐田 則 昭	平成24年	虎	壁	永田 知徳
86	六郎丸	津房 守世 宅	平成8年	大黒	壁	石田 覚蔵
87	楢本	永田 正 春	平成13年	龍	母屋裏壁	永田 知徳

鏝絵って何だ!?

鏝絵の歴史

鏝絵とは、土蔵や家の戸袋などの平らな面に塗られた漆喰の壁面に、鏝を使って薄肉状に盛り上げた彩色漆喰で描いた絵のことです。

鏝絵として、一般に広まったのは、江戸時代後期のことで伊豆の左官職人、入江長八の存在が大きいと言われています。

県内では、江戸後期に伝えられ、安心院、院内、山香、玖珠などを中心に点在しており、全国でも一番の密集度を誇っています。

安心院では、明治初期から盛んに作られるようになりました。最近のものまで含めると町内には約100ヶ所余りの鏝絵があります。

鏝絵の特徴

安心院の鏝絵の特徴は、戸袋や妻壁の一面全体を使ったものや大壁一面を使ったものなどが多いです。

図柄は、恵比寿、大黒などの七福神、龍、虎、鶴、獅子など招福辟邪の祈りが込められています。また、明治18年に制作された、靴を履き椅子に座った福祿寿の禿頭を、ブーツを履き、洋ハサミを持った大黒が散髪する姿を描いたユニークな文明開化を思わせるものもあります。

鏝絵の技法

鏝絵は、漆喰に細かくした麻や藁を混ぜ、練り上げたものを材料としています。赤、黄、青などの色は、大和絵に使う岩絵の具を使い、虎や龍の目に使われる金色や銀色は、ガラスの内側に金紙や銀紙をしいています。さらには、龍などの鬚には銅線、恵比寿の釣り竿には竹など道具を使って仕上げています。

鏝絵の分布

鏝絵は、全国いたるところで、かつては見られていましたが、古くなった家は取り壊され、建築様式の変化で漆喰を使った壁などは殆ど見られなくなりました。そのような中で、大分県では、まだ500点を越す鏝絵が残っています。明治20年～30年代にかけて多くの鏝絵が作られ、約100年の時を経てもなおその輝きは衰えていません。

大分県には、宇佐市安心院町・院内町をはじめ杵築市山香町、杵築市、日出町、中津市耶馬溪町・本耶馬溪町、日田市、玖珠町などに分布しています。

左官の棟梁と弟子たち

安心院には、多くの鏝絵がつくられました。そこには、2人の偉大な棟梁と弟子たちがいました。龍王村の長野鍬蔵、平山村の佐藤本太郎という大棟梁。弟子（門人）たちが、建立した大棟梁のお墓が現在でも残っています。そこには、弟子たちの名前も彫られ、それぞれ20人余りの弟子がいたことが知られます。

問い合わせ先：(一社) 宇佐市観光協会安心院部会

住所：〒872-0521 大分県宇佐市安心院町下毛 2115 安心院地域複合支所 1階

TEL：0978-34-4839 (FAX 兼) メール：kankou@ajimukk.com